



我が家の防災・非常持ち出し袋

◆非常持ち出し袋を準備しよう◆

大地震などの災害発生で、いざ避難をするとなると何をもち出せば良いか直ぐには思い浮かばないものです。いざと言う時に備えて、まずは必要な**持ち出し品リスト**を作りましょう。そして「**非常持ち出し袋(バッグ)**」を準備し、いつでも持ち出せるようにしましょう(段取り八分)。

三田市の食糧等備蓄は、地震被害による**想定避難者 4700人**に対して、**1日分**です。また、避難所が開設されても直ぐには必要な物は揃わないことが予測されます。自分の物は自分で用意しましょう。

(1) どんな物を備える? (チェックリスト)

★避難する際に緊急的に持ち出すもの
★あると便利なものではなく、ないと困るものを準備

- ・飲料水/非常食(1日分)
 - 飲料水(3リットル) チョコレート・ビスケット レトルト食品
 - 缶詰(缶切り) 割り箸・スプーン 紙皿・紙コップ
- ・日用品
 - 衣類 タオル マスク 歯ブラシ類 サランラップ ティッシュ ビニール袋
 - 生理用品 カイロ 防寒着 簡易トイレ用品(袋、凝固剤、消臭剤) 手指消毒液
- ・防災用品
 - 懐中電灯 携帯ラジオ 乾電池 充電器(手廻し・ソーラー) ヘルメット(防災ずきん)
 - 寝袋・断熱マット 軍手 ホイッスル 万能ナイフ
 - マッチ・ライター・ろうそく 筆記用具・油性マジック
- ・救急用品
 - 常備薬 キズ薬・消毒薬 ばんそうこう ウエットティッシュ 胃腸薬など
- ・貴重品
 - 現金(小銭も必要) 通帳・印鑑 権利証書 健康保険証・免許証の写し お薬手帳
- ・ベビー用品
 - 粉ミルク・哺乳瓶 離乳食 紙おむつ ガーゼ

(2) 保管場所など

- ・両手が空けられるようリュックなどに入れ、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう
- ・一家に一個ではなく、**一人你一个**を準備(重さの目安は、男性 15Kg、女性 10Kg)
- ・日常使用する物は、リスト記載のみで可(年に1回は見直しましょう)

(3) 避難する際は?

- ・ブレーカーを落す(通電火災に備えて)、ガスの元栓を閉める、戸締りをしっかり
- ・無事カードの掲示(行き先などを記載)
- ・災害用伝言ダイヤル(171)や伝言板に登録しましょう(時間的余裕がある場合)
- ・明るいうちに早めに(暗くなると足元が危険)
- ・近所の方と声を掛け合い・誘い合って、地区の集合場所へ(直接避難所へ行っても開設されていない場合があります)
- ・ご近所の避難行動要援護者にも声をかけて避難支援を行いましょ



(4) ペットの同行避難について

三田市では、避難時のペットについては、**同行避難**を原則として、避難所に避難場所を確保するように定めています。



同行避難とは、避難が必要な飼い主が飼育しているペットとともに避難することで、避難所で飼い主がペットを同一の空間で飼育管理することではありません。

◆避難所には、動物が苦手な方、アレルギーのある方等も避難されてきますので、人とペットの居住空間を分離し、ペットは離れた場所でのケージ内や繋ぎとめによって飼育されます。

また、避難所は、場所の問題、避難民の人数などでペットの受け入れは難しい場合が想定されます。**避難所が近い場合は、ペットは一先ず自宅に置いて避難しましょう。**

◆避難所で、人もペットも、互いにストレスなく過ごせるように、日頃から次のような備えが必要です。

① 飼い主の明示をしましょう

ペットと離れ離れになってしまい、探すためには、識別情報が重要です。大切なペットのために、**迷子札やマイクロチップの装着など、飼い主の明示**をしましょう。また、犬には必ず**鑑札や狂犬病予防注射済票をつけておく義務**があります。

② しつけをしておきましょう

避難所にはたくさんの避難者が集まりますので、基本的なしつけをしておくことが大切です。**不必要に吠えない、決められた場所での排泄**や、「待て」「おいで」「ハウス」などのしつけや、自宅から避難するときや避難所での生活に備え、**キャリーバッグやケージに入ることに慣らしておく**ことも必要です。



★分散避難について

感染症等の流行の場合、避難所に行くのだけが避難ではありません、**過密を避ける為・感染しない為にも**、自宅の安全な場所への避難 (**在宅避難**)、親戚や知人宅への避難 (**縁故避難**)、安全な広場等での車中避難 (**青空避難**)、ホテル避難などの分散避難を検討しましょう。

防災便りは、富士が丘ポータルサイト (🔍 「富士が丘」で検索) にも掲載しています。

<http://sanda-fujigaoka.com/2016/12/03/5802#tayori>

◆つぶやき◆

最近の災害は、一度牙をむくと想像を絶するような状況が発生しています。災害は未然に防ぐことはできませんが、日頃の備えで被害を抑えることはできます。自分や大切な家族を守るために、出来るところから備えたいものですね。(m.y)

